

令和4年度第1回図書館協議会における提案事項について

	提 案 内 容	図書館の取組
1	外国籍の方へのサービスについて、市内にどういった母国語の方がおられるのか統計データを把握した上で、その言語の資料を揃えていただいた方が良い。	・本市の外国人市民の国籍別構成では、ブラジル(ポルトガル語)、ベトナム(ベトナム語)、フィリピン(タガログ語、英語)、中国(中国語)、ペルー(スペイン語)が多く、特にここ数年ベトナム語圏、フィリピン語圏(タガログ語)の外国籍の方が増加傾向にあります。 ・こうした中、本市の洋書の蔵書のうち、ベトナム語及びタガログ語など、東洋諸語の点数は269点と少ないため、令和5年度は、洋書購入点数のベトナム語・タガログ語の割合を増やすなど外国人市民の国籍別構成に配慮した図書購入に努めます。 ・また、小牧市国際交流協会との連携事業(外国人向け図書館ツアー)の開催の検討も進めます。
2	読書関連のイベントとしてビブリオバトルや少人数で集まってワークショップ形式で自分のおすすめの本を持ち寄りしているんな話をするワークショップを開催してはどうか。	・本年度は、市民団体との協働で中高生を対象に「教えて！推し本」というイベントを開催しました。(別紙参照) ・R5年度については、さらに市民団体と協働して趣向を凝らした中高生向けのブックイベントを開催したいと考えています。
3	中央図書館なら中央図書館、東部なら東部という固定ではなく、新刊本を巡回していただくと図書室を利用した時に他館に入った本も見れるんじゃないかなと思いました。	・新刊本については予約がかかることが多く、そうした中、巡回を行う場合、図書の管理及び貸出事務が煩雑となることから、現状での対応は難しいと判断しました。 ・そのため、R5年度以降も各館・室でバランスよく新刊図書を購入していくとともに、どの館でも、別の館の本を予約して取り寄せることができますので、予約のPRを行っていきます。
4	各図書室の整備・拡充について 市では中央図書館に力を入れて整備をしてきたけれども、やはり味岡、東部、北里の図書室についてもお願いしたい。	・各図書室の施設面を物理的に拡大することは難しいですが、設備面やソフト面でできることがあれば充実させていきたいと考えています。 ・今年度の取組としては、ソフト面として、中央図書館で好評だった図書コーナー展示本を巡回展示コーナーとして実施しました。また、設備面として、中央図書館と同様に各図書室に「タブレット端末」「CD・DVD視聴機」を配置します。
5	○図書館で映画を作る取組はどうか。 田原市図書館とコラボして、映画を制作する取組を実施した。 安城ではプログラミングブースがある。(映像を編集するブースがあるとよいと思う) ○ウィキペディアタウンについて	・新たな取り組みとして図書館での映像作成、ウィキペディアの作成の提案をいただきましたが、現状の職員体制では、職員主体で取り組むことが困難です。 ・過去に図書館で活動する「AV技術者の会」という市民活動団体が各種映像の撮影、公開をしていたのですが、数年前に解散しています。 ・そのため、映像関係の企画・イベントについては、将来的に市民活動団体との連携など機会があれば、その開催の可能性を探っていきたいと考えています。 ・なお、R5年度は子ども向けのプログラミング講座を開催する予定です。